

文化財石垣保存技術協議会会報

平成30年（2018） 第21号 -平成30年度事業報告-

後継者育成研修（津山）

日 時 平成30年10月19日（金）～21日（日）
場 所 史跡津山城跡（岡山県津山市）
受講者 技能会員3名、講師1名
内 容 石垣解体作業への参加



研修の様子



研修の様子



研修の様子

受講者の声

小川 龍也（技能会員）

まず、今回の津山研修に参加できたことに感謝したいと思います。大変ありがとうございました。

また講師の和田社長や和田石材建設(株)の方々、一緒に研修を受けた小野さん、山口さんお疲れ様でした。

研修では現在解体しようとしている石垣、修復した石垣、解体の現場、丁場の後地などを見学させていただいたり、実際に解体作業を手伝わせていただきました。解体作業では外した石の調査項目の多さや、その丁寧な作業工程に感心し、今後の参考になる勉強をさせていただきました。

研修の中でも、解体前の石垣のハラミ、ズレ、傾きからその原因を推測、検討、対策を考えたり話し合ったりしたのは面白かったですね。

丁場の後地からも面白い発見などがあったり、津山城見学からも気になることが見つかったりと、今後の課題も出てきて、大変充実した研修になりました。

最後に今回の研修でお世話になった和田社長や和田石材建設(株)の方々、小野さん、山口さん本当にありがとうございました。この人と人との繋がりを大切にして、これからも頑張っていきたいと思っています。



研修の様子

実地研修3（第16回全国城跡等石垣整備調査研究会 和歌山大会）

日 時 平成31年1月24日（木）～26日（土）

場 所 和歌山県民文化会館小ホール
史跡和歌山城跡（和歌山県和歌山市）

受講者 評議会員2名、技能会員16名、技術・研究会
員30名、一般会員8名、賛助会員所属12名

開催趣旨

テーマ 『石垣整備における石材をめぐる諸問題』

主 催 文化庁 和歌山市

共 催 文化財石垣保存技術協議会

研究会内容

平成31年1月24日（木）

主催者挨拶	大野 彰子（文化庁文化財第二課 課長） 尾花 正啓（和歌山市長）
共催者挨拶	松本 勝蔭（文化財石垣保存技術協議会会長）
大会趣旨説明	下間 久美子（文化庁文化財第二課）
基調講演 1	北垣 聡一郎（石川県金沢城調査研究所 名所所長） 「石材からみた城郭石垣の構築とその本質的価値」
報 告 1	大山 僚介（和歌山市和歌山城整備企画課） 「史跡和歌山城跡の石垣石材」
経過報告	嘉村 哲也（熊本市熊本城調査研究センター） 「特別史跡熊本城跡の石垣災害復旧事業と石材」

平成31年1月26日（土）

現地見学	史跡和歌山城跡石垣、岡公園石切丁場跡見学
------	----------------------



松本会長の挨拶



北垣聡一郎評議会員の講演

平成31年1月25日（金）

報 告 2	多田 暢久（姫路市立城郭研究室） 「特別史跡姫路城跡の石垣石材」
報 告 3	細田 隆博（鳥取市教育委員会文化財課） 「史跡鳥取城跡の石垣石材」
報 告 4	大島 勇治（白河市建設部） 「史跡小峰城跡の石垣石材」
報 告 5	橋本 孝（文化財石垣保存技術協議会） 「石垣修理と石材—文化財建造物の視点から」
経過報告	平成30年7月豪雨における被災城跡の現状 （史跡和歌山城跡、史跡丸亀城跡、史跡津山城跡）
パネルディス カッション	「石垣整備における石材をめぐる諸問題」 コーディネーター： 宮里 学（山梨県埋蔵文化財センター調査研究課） パネリスト： 北垣聡一郎、嘉村哲也、多田暢久、細田 隆博、大島勇治、橋本隆、大山僚介
まとめ	下間久美子（文化庁文化財第二課）
次期開催地挨拶	小坂田 裕造（津山市教育委員会生涯学習部 部長）
閉会挨拶	沼丸 晴彦（和歌山市観光国際部 部長）



橋本幹事の報告



和歌山城跡現地見学

受講者の声

服部 敏典(技能会員)

各地の報告を聞き、各地で石材のストックが今後の課題になっていることにまず驚きました。私は北海道という広大な土地に居を構え、なおかつ業務で全道を走り回るので、築石用の岩石だったり、川原石の不足という問題に直面したことが無かったので凄く衝撃を受けました。その中で私が思いましたのは、せっかく全国規模の協議会なのでもっと会員同士で石材の情報共有ができないのか?と研修期間中に思いました。

私が北海道で所属している団体の一つに魚道研究会という機関があります。そこでは、様々な行政(国・道・市町村・支庁)が発注した魚道が、製作した後は維持管理をせずにいたが為に機能しなくなった構造物をデータマップ化して会員(民間・行政)皆で情報を共有し、維持管理をしやすくしようという活動をしています。

今回の資料集に、全国の関係機関が協力しあって調査票を作成されていたのを見て、これをデータ化(カラーでパソコンで閲覧できるように)して、協会のHPから会員はパスワード入力したらいつでも見れるようにすると、川原石が無いけど、この石垣整備をしている石切丁場から融通してもらえないかな等、課題克服に前進するのではないのでしょうか?例えば、石川県の金沢城二ノ丸居間先の色紙短冊積石垣に使用されている石材等は、私は北海道登別の凝灰岩が色合等も凄く似ていると思います。

発注者、設計者、技術者、皆が石材ストック情報を共有することにより、ますますスムーズな工事が可能になると良いなと思いました。

多田さんの報告にありました、取り替えて保管していた石材を別の箇所で使用する新しい試みは、私は資材の有効活用という点で素晴らしいことだと思います。野ざらしで置いておけば、民間の方が見たらただのゴミに見えると思います。

最終日に現地見学の時にも再度石垣を見ながら聞きましたが、当時の方法で復元するだけでなく、現在の発展した技術も組み合わせることにより、当時よりもますます屈強な石垣になる。これぞ、温故知新ではないでしょうか?

個人的に全国からたくさんの行政の方が参加しているので、是非北海道の文化財に関わる方にも参加して頂きたいです。

指導者養成研修

【第1回】

日時 平成30年4月21日(土)・22日(日)
場所 福田小学校跡地(香川県小豆島町)
受講者 技能会員5名、技術・研究会員3名
講師2名
内容 石割記録保存事業への参加

【第2回】

日時 平成30年5月5日(土・祝)・6日(日)
場所 特別史跡熊本城跡(熊本県熊本市)
蟹江石材採石場(熊本県熊本市)
受講者 技能会員6名、講師1名
内容 技能者養成研修実技研修の講師研修

【第3回】

日時 平成30年5月12日(土)
場所 日本城郭研究センター(兵庫県姫路市)
受講者 技能会員1名、技術・研究会員1名
講師10名
内容 選定保存技術保持団体運営研修

【第4回】

日時 平成30年7月16日(月・祝)
場所 日本城郭研究センター(兵庫県姫路市)
受講者 技能会員7名、技術・研究会員2名
講師20名
内容 選定保存技術保持団体運営研修

【第5回】

日時 平成30年12月22日(土)
場所 日本城郭研究センター(兵庫県姫路市)
受講者 技能会員7名、技術・研究会員2名
講師14名
内容 選定保存技術保持団体運営研修



第5回研修の様子

第1回受講者の声

藤田 精 (技能会員)

今回の指導者養成研修は、私の地元の小豆島での開催となりました。記録保存事業の一環に行われ、鍛冶・石割と平行して進められました。

今回初めて、コンサルの方々が小豆島での石割作業、ノミ焼きを見学され、各作業工程ごとに技術的・技能的な質問も多く、実際に石加工現場の空気感を共有できた事はこれからにつながるとても良い機会になったと感じました。

現代の石工の作業において、鍛冶仕事をしながら石材を割り、加工していくという事は、日常作業から消えつつある技術です。築城当時あたり前に使われていた技術を、もう一度道具のレベルから検証し再現、そして石を割り加工できる技術、技能を身につけていく。「保存技術協議会」という名前が意味するように、皆で技術を協議することが大切だと思います。

予算、納期、工期があり、効率、スピード重視になりがちな現代ですが、これから文化財石垣、石をさわっていく方々には、基礎技術として身に付けておく必要があると考えております。



第1回研修の様子

■新規加入会員紹介 (平成30年12月22日役員会審査)

会員区分	氏 名	所 属
技能会員	石森 佑輝	(有)石森石材
〃	川上 将司	(有)寿緑化造園
〃	川口 誠二	(株)いづの造園
〃	國松 祥治	國松石材(株)
〃	倉畑 成行	中村石材工業(株)
〃	下前 昌也	〃
〃	三浦 健次	(株)山口石材

〃	村川 照明	(有)むらかわ造園
〃 ※一般会員より 変更	山隈 昌彦	伊勢造園建設(株)
技術・研究会員	市澤 泰峰	豊田市教育委員会
〃	佐藤 明生	(公財)文化財建造物 保存技術協会
〃	中西 将	〃
〃	濱田 晋一	名古屋工業大学大学院
一般会員	紅林 忍	紅林庭園
〃	松井 國弘	

■入会手続き

入会申請の用紙は協議会のホームページから取り出すことができます。入会申請に必要な事項を記入のうえ、下記の事務局へご送付ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費(4月～翌3月)をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■事務局からのお知らせ

事務局では「会員証明」の発行を行っています。業務などで必要な方は事務局まで発行をご請求下さい。

■事務局・広報担当からのお願い

当協議会が実施する研修内容や項目について要望があれば、書面で事務局までお知らせ下さい。内容を検討の上、各種事業に反映させていただきます。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成31年3月31日現在)

技能会員	170名
技術・研究会員	115名
一般会員	41名
賛助会員	22法人
評議員	10名
合 計	358名 (法人含む)

発行年月日 平成31(2019)年3月31日
 編集・発行 文化財石垣保存技術協議会
 事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258
 日本城郭研究センター内
 TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890